

## 2020.11.23.鶴川図書館応援まつりの報告

2020.12.12.鈴木真佐世

皆様、お疲れ様でした。

今回の応援まつりはやりましょうと決まったのが11月のはじめで、その後、どのようなことができるかを詰め、他団体にも協力を依頼し、印刷したチラシ1200枚が届いたのが何と開催1週間前の11月15日、そこからチラシ配りをしました。市の計画に反対する催しと見なされ、小学校やつるっこなど公的なところには配布を依頼できませんでしたが、鶴川地域の図書館と2つの商店街、地区協議会に置いていただき、3つの保育園、2つの幼稚園には全園児に配っていただきました。どこまで開催情報が伝わっているかわからず、参加してくださる方がいなくて、閑散とするのではないかと当日が来るまで心配でした。でも、ふたを開ければ、たくさんの親子連れの方や年配の方など、いろいろな方がいらして下さり、どのコーナーも大賑わいでした。



- ・オープニングには、みどりの森保育園のママさんブラスが今年も出演して、服部良一ヒット曲メドレーなどを演奏していただきました。



- ・パタパタ絵本作りは、午後と同じメンバーでおはなし会をするので、午前での開催で20人位、子どもたちは(ママも)みんなじっくり取り組んで素敵な絵本が出来上がっていました。



- ・鶴川冒険あそび場の方たち3名が行ってくださった松ぼっくりツリー作りコーナーでは、何と51人の子どもがツリーを作りました。(ちゃんと参加名簿を書いて、提出していただきました。)材料がなくなった時点で店じまいということで、1時くらいには閉店となりました。



- ・「図書館問題を考える」コーナーでは、今後も連絡を欲しいと名簿に名前を書いてくださった方は5名ですが、その他にも、表に出した看板を見て署名をしたいと言ってきた方もたくさんいらしたそうです。



- ・図書館クイズコーナーでは、図書館に行かないと解けない問題で、幼児から大人までの方が参加できるように5種類のクイズを作りました。39名の方に配布。答えを持って来て、紙ごま、しおり、メダルをもらって帰られた人は21名でした。



・午後のおはなし会では、名簿に書いてもらいませんでしたが、写真で数えると20名くらいのお子さんや親子がシートに座って見てくださり、その他にも周りや後ろで立って見ていた大人の方が何人もいらっしゃいました。

演じた大型紙芝居2つと舞台、大型絵本1冊は文学館から、大型絵本1冊は鶴川図書館からお借りしたものです。おはなし会で敷いたマットや拍子木も鶴川図書館からお借りしました。



・古本市の報告(守谷さんより)：総売り上げ33,500円でした。過去2回を上回る最高額です。売れ筋の本を持ち込んで下さった今立さん、水越さんが提供してくださった子どもの本の売れ行きが好調でした。売上金は今後の活動に活かさせていただきます。



・町レクの方たちの名簿もいただいていませんが、バルーンアートにはいつも列ができて、すごい人気でしたし、ポッチャやラダーゲッター、ダーツを楽しんでいる子どもたちもたくさんいました。

おもちゃ病院は、前宣伝ができていないと、壊れたおもちゃを持って来れないので、数としてはちょっと少なかったかもしれませんが、おもちゃが直った子どもたちはどんなに喜んだことでしょう。



(ラダーゲッター)



(ダーツ)



飛び入りで参加で、ギター片手に歌を

・会の代表の富岡さんも今日ばかりは一日仕事の予定を空けて、テントをはじめ色々な道具の準備や片づけに汗を流してくださり、古本市の残った本を、次回のために、富岡さんのお店の倉庫(真光寺にある)に全部しまっておきました。2時半に終了して、1時間半で撤収作業を終え、4時には会場を後にすることができました。

・図書館からも、鶴川図書館や他の館の職員の方々が応援に来て下さって、有り難いことでした。鶴川図書館の方からはお菓子の差し入れもいただきました。おはなし会や図書館クイズなど、色々な面で鶴川図書館のご協力をいただきました。ありがとうございました。これからも、鶴川図書館の職員の方々とも出来ることで協力しあって、鶴川図書館がこの地域に市立図書館として存続することを実現したいと思います。